

宝塚市社会福祉協議会の歴史

平成 30 年 4 月 1 日	介護保険総合事業 訪問型サービスA（生活支援ヘルパー）開始
平成 29 年 4 月 1 日	地域福祉推進計画策定（宝塚市社協第 6 次計画）
3 月 31 日	小規模デイサービス（民家型通所介護事業）安倉の家閉所
平成 28 年 1 月 8 日	地域サポート事業（野上の家）の実施
4 月 1 日	宝塚市高齢者・障がい者権利擁護支援センター移転
平成 27 年 4 月 1 日	せいかつ応援センター市役所内に開設
平成 26 年 2 月	宝塚市セーフティネット会議開催
11 月	安心地区整備推進事業の実施
平成 25 年 5 月 7 日	長尾地区センター移転
4 月 1 日	ごてんやま地区センター移転
3 月 31 日	御殿山よりあいひろばおよび長尾介護予防拠点の閉鎖
平成 24 年 5 月 25 日	宝塚市高齢者障がい者権利擁護支援センター開設 （NPO 法人宝塚成年後見センターとの共同運営）
3 月 1 日	小規模デイサービス（民家型介護事業所）ふれあいあさひ開設
1 月 10 日	ケアセンター仁川（居宅支援事業）開設
平成 23 年 3 月 28 日	第 5 次 地域福祉推進計画の策定
3 月 11 日	東日本大震災 以降、被災地への職員派遣を継続して実施
平成 22 年 11 月	くらしサポーター事業の開始（ちょこっとヘルパー事業の見直し）
6 月	地域福祉優秀実践賞を受賞（日本地域福祉学会より）
平成 21 年 11 月	安全で安心な楽しいまちづくり事業開始（安心生活創造事業）
6 月	あんしんサポートセンター（権利擁護センター）の開設
4 月	不登校・ひきこもり支援事業（思春期ひろば事業）
2 月	ちょこっとヘルパー事業開始
平成 20 年 11 月	いきいき歩いて健康事業開始、認知症サポーター養成事業開始
9 月 30 日	ニッセイ財団高齢社会先駆的事業助成終了
6 月	日中一時支援事業開始
3 月 31 日	小林地域包括支援センターに仁川在宅介護支援センターを吸収
平成 19 年 12 月 3 日	小規模デイサービス（民家型通所介護事業所）安倉の家開設
平成 18 年 11 月 1 日	自立支援法施行にともない、障害者自立生活支援センターに地域活動支援センターを開設
10 月 1 日	自立支援法施行にともない、障害者デイサービスを障害者支援センター (安倉西・安倉南)に名称変更

5月23日	小規模デイサービス（民家型通所介護事業所）野上の家開設
4月1日	小林地域包括支援センター開設
平成17年10月1日	ニッセイ財団高齢社会先駆的事業助成を受ける。 （期間 平成17年10月から平成20年9月まで）
8月22日	小規模デイサービス（民家型通所介護事業所）鹿塩の家開設
4月1日	ケアセンター安倉（居宅介護支援事業所）開設
3月23日	地域福祉推進計画（宝塚市社協発展計画）策定
平成15年4月1日	支援費制度導入
10月1日	御殿山よりあいひろばオープン
平成14年11月1日	よりあいひろばオープン 光明地区センター移転、おばやし地区センターに名称変更
平成14年10月1日	安倉南デイサービスセンター・安倉児童館オープン
6月1日	フレミラ宝塚オープン（老人福祉センター移転、大型児童センターオープン）
4月1日	ソリオ地区センター移転、ごてんやま地区センターに名称変更 民生委員・児童委員連合会事務局を市より移管
2月	ボランティア活動センター ぷらざこむ1へ移転
平成13年12月	地域福祉活動計画策定
10月1日	安倉地区センターオープン
7月1日	長尾地区センターオープン
4月1日	仁川在宅介護支援センター運営受託
平成12年4月1日	介護保険事業開始 仁川デイサービスセンターオープン 高司児童館オープン ふれあいいいききサロン支援事業開始
平成11年10月1日	地域福祉権利擁護事業開始 ソリオ地区センターオープン ケアセンター光明（居宅介護支援事業）開設
4月1日	安倉在宅介護支援センター運営受託
1月	西谷地区センター開設
平成10年10月1日	中山台地区センターオープン 障害者自立生活支援センター運営受託
平成10年4月1日	光明訪問看護ステーション事業開始 ホリデイサービス事業開始 福祉コミュニティ支援事業開始
平成9年10月	巡回型ホームヘルプサービス事業開始
8月	生活復興相談員設置

7月1日	光明在宅介護支援センター運営受託 逆瀬台地区センターオープン
5月	新地域福祉計画策定
4月	サテライトデイサービス開始（安倉デイ）
平成8年6月	光明地区センターオープン
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災以降、被災者支援と復興活動を開始
平成6年4月5日	ボランティアセンターソリオコーナーオープン
平成5年7月1日	ふれあいのまちづくり事業を国から指定を受ける （指定期間 5.7.1～10.3.31）
4月26日	光明デイサービスセンターオープン 光明老人デイサービス事業開始
4月1日	在宅痴ほう性老人介護支援事業開始
平成4年11月	愛の持ち寄り運動協会廃止
7月1日	全身性ガイドヘルパー派遣事業開始
3月31日	機能訓練事業を市へ移管
3月31日	要約筆記奉仕員派遣事業を市へ移管
平成3年4月1日	老人配食サービス事業開始
平成2年5月	宝塚市地域福祉計画策定
4月	機能訓練事業を市から受託
4月	在宅障害者「一般デイサービス」事業開始
平成元年4月1日	緊急通報システム事業開始
4月1日	安倉デイサービスセンターオープン 老人デイサービス事業開始
4月1日	ホームヘルプサービス事業市受託開始（独自との2本立て）
昭和63年4月	要約筆記奉仕活動派遣事業を市から受託
4月	ボラントピア計画策定
昭和62年10月	第2会食サービス事業開始（喜久の会の協力により）
4月	小地域福祉活動推進モデル地区指定事業開始
昭和61年4月1日	福祉ボランティアのまちづくり事業を国から指定を受ける （指定期間 61.4.1～63.3.31）
4月1日	宝塚市老人福祉センター管理運営を市から受託
昭和60年10月	障害デイサービス「しおんの園」開園
7月1日	宝塚市総合福祉センターオープン
6月26日	南口事務所 宝塚市総合福祉センターへ移転
6月15日	小林事務所 宝塚市総合福祉センターへ移転

6月12日	宝塚市総合福祉センター管理を市より受託
昭和59年4月1日	希望学級（重度障害者デイサービス事業）を市から受託 →希望学級は終了し、しおんの園へ
昭和58年8月	ホームヘルプサービス事業開始
4月	老人会食サービス事業開始（久実の会の協力により）
昭和57年4月1日	小林事務所開設 （ボランティアセンター、心配ごと相談所、福祉電話は南口事務所）
昭和56年6月10日	訪問入浴サービス事業開始
昭和51年12月23日	ボランティア活動センター開設
昭和50年10月1日	老人福祉電話事業開始
昭和49年4月1日	宝塚市老人憩の家運営業務を市から受託 福祉委員会設置 委員会に組織推進部会他4部会を設置
3月	社会福祉大会事業開始
2月26日	事務所移転（南口再開発ビル B棟4階）
昭和48年4月1日	「やまびこ学園」公立として市へ移管
3月5日	会員規程施行（会員募集始まる）
昭和47年7月	社協だより発行開始
昭和46年8月1日	精神薄弱児通園施設「やまびこ」学園開園
昭和44年3月31日	老人、身障者家庭奉仕事業市に移管
昭和43年6月	事務所を宝塚市老人福祉センターへ臨時移転
4月1日	宝塚市心配ごと相談所開設(宝塚市老人福祉センター)
4月1日	宝塚市身障者家庭奉仕事業を市から受託
4月1日	日本赤十字社事務、宝塚市愛の持ち寄り運動協会事務等の業務を宝塚市より事務移管される
2月28日	社会福祉法人として厚生省より認可 定款施行 理事13名 評議員40名
昭和41年9月1日	社会福祉法人化にむけて宝塚市社会福祉協議会設立
8月31日	宝塚市社会福祉協議会解散
4月1日	宝塚市老人家庭奉仕事業を市から受託
昭和38年6月1日	宝塚市善意の日制定併せて宝塚市善意銀行設置
昭和35年5月25日	部会制度設置 民生援護部会他4部会
昭和31年10月	共同募金宝塚支部事務開始
昭和29年7月1日	宝塚市社会福祉協議会発足 事務局：市役所内 初代会長：千樹 長蔵

